

さあ、再スタート！号外

コロナ禍で諸行事が順延されるなど大きな影響を受けました。3年ぶりに総会・懇親会が開催に漕ぎつけられたことは、この上ない喜びです。壁新聞に代わり最近の旭川の情報をお届けします。



号外：令和4年(2022)10月22日発行
東京旭川会 〒359-0041
埼玉県所沢市中新井4-24-3
(高木宏明)
TEL/FAX：042-942-8455
e-mail：asahikawakai_tokyo@yahoo.co.jp
編集：東京旭川会広報チーム

旭川市市制施行百周年

今年、旭川市は市制施行百周年を迎えました。先人たちが歩んだ歴史を振り返り、新しい百年に向けて歩み始める機会とするため、官民連携した色々なイベントが実施されています。

旭川大雪圏中核都市圏

1月12日旭川市と近隣8町(鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町)の各首長は『旭川大雪圏中核都市圏』連携協約に調印しました。これによって新型コロナウイルス対策、農産物の地産地消と輸出促進、観光振興

など共同して取り組むこととなりました。これに伴い、圏域の魅力発信や国とのネットワークのため東京に旭川大雪圏東京事務所が開設されました。

9月3、4日、羽田空港で旭川大雪圏と名寄、士別、富良野の3市の農産物をPRする初の物産展「旭川大雪マルシェ」が開かれ、大勢の来場者でにぎわいました。



▲「旭川大雪マルシェ」で今津市長を囲み、東京旭川会からの参加者

あさひかわ応援大使

8月28日、東京プリンスホテルで旭川市へ3年連続してふるさと納税している方々などを対象に、交流イベントが開催されました。会場では、今津市長がふ

るさと納税の活用実績を報告しあさひかわ応援大使認定証の授与式が行われました。市長を囲みふるさと納税寄付者や東京旭川会、関西旭川会など支援団体の人々が久々に懇親し旭川の食材料理や旭川市の魅力を堪能し故郷への思いを新たにしました。



▲ 交流会参加者

平和通買物公園50周年

全国に先駆け旭川市に開設された恒久的歩行者専用道路 平和通買物公園は今年で50周年を迎えました。今後のさらなる発展を祈念して記念事業や市民参加のパフォーマンスが実施されています。

9月2日NHKの北海道100年都市ものがたり

「旭川・室蘭・釧路」で「買物公園の歴史」が放送されました。

北の恵み食べマルシェ



9月17日～19日までの3日間、3年ぶりとなる食べマルシェが買物公園で開催され、多くの人が訪れました。

お店によっては、長い行列ができて1時間待ちや、終了時間前に完売してしまいうお店もありました。

「旭川はれて」

旭川出身の元衆院議員でタレントの杉村太蔵さんが「旭川にはまだまだ伸びしろがある。街の顔を目指しここから旭川を晴れやかにしたい。」と宣言し、平和通買物公園沿いに企画・整備した商業施設「旭川はれて」(旭川市5の8)が7

月10日、グラントオープンしました。ピザや串カツなどの飲食店25店が入店し賑わっています。



▲開業セレモニーで杉村さんと店長等のテープカット（北海道新聞）

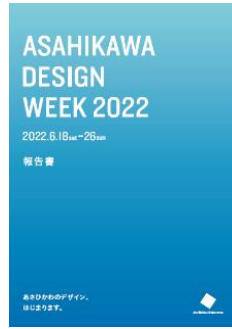
「あさひかわデザイン

ウィーク 2022」

「あさひかわデザインウィーク（ADW）」は、道北の広域で開催されるデザイン祭の祭典です。今年は6月18日から9日間にわたって、幅広い産業分野や学校などの関係団体によるシンポジウムや体験型イベント、近隣の自治体による関連行事などが行われました。

旭川家具を常設展示する「旭川デザインセンター」と、中心商店街の買物公園が主会場となりました。コ

ロナ禍で直近2年はほぼオンラインでした。19年に旭川市がユネスコ創造都市ネットワークのデザイン分野で認定されて以来、初めて青空の下に集い、参加者（のべ8万3千人）は、緑あふれるあさひかわの時空で五感を澄まし、学んで、楽しみました。



▲ ADW2022 報告書

旭川出身者の活躍

北口榛花選手

刮目すべきは、やり投げの北口榛花選手の活躍でした。6月19日パリのダイヤ



▲ 銅メダルを首にかけ笑顔の北口選手 写真提供：日本航空

モンドリーグで日本人初の優勝や9月スイスの陸上の世界最高峰のダイヤモンドリーグのファイナルで日本勢として初の3位表彰台という快挙を果たしました。10月の栃木国体では、65・68mで優勝しました。

旭大高の活躍

旭大高は、7月24日スタルヒン球場で旭川東を下し3年ぶり10度目の甲子園に進出しました。第1戦8月10日では強豪大阪桐蔭と互角の戦いを展開し惜しくも1勝は逃したものの優勝候補チームをヒヤリとさせました。

橋田壽賀子賞

本年4月、「阿佐ヶ谷姉妹のほほんふたり暮らし」NHK、「エアガール」テレビ朝日、「日本沈没」希望の人」TBSなど第一線で活躍する旭川出身の脚本家 橋本裕志さんが、昨年の山本むつみさんに続き橋田賞を受賞しました。

若き作曲家 田島さん

旭川出身の若き作曲家

田島佑一さん（22歳）は、旭川東高在学中に第85回NHK全国学校音楽コンクールに出場し学生指揮と学生伴奏で全国銅賞を受賞しました。

卒業後は上京し昨年5月に道出身の学生を中心に混声合唱団「chorusium」を結成し活動しています。8月に第33回朝日作曲賞に輝き、9月23日には東京都・朝日新聞主催の都合唱コンクールで銅賞を受賞しました。

ベテランも！

中学の時から旭川を離れ、木谷道場に入門、現在の確固たる地位を築きあげた囲碁棋士（名誉名人）の小林光一さん（70歳）の半生が朝日新聞のコラム「人生の贈りもの」で6月から14回にわたり連載されました。



▲ 囲碁扇子 小林光一（天道）（日本棋院）

☆左は東京旭川会のSNSのQRコードです。携帯電話、パソコンでお試しく下さい。



LINE 公式アカウント
お友だち登録をお願いします。
<https://lin.ee/5vAoJSU>



facebook
<https://www.facebook.com/profile.php?id=100055751283910>



PR 動画
https://youtu.be/1aOU29m_NSw



ホームページ
<https://www.asahikawa-kai-tokyo.jp/index.html>